

令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立静岡北特別支援学校 南の丘分校 P T A	
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	61人

1. 使用状況

寄贈物品名	名刺裁断機
使用学年及び人数	作業学習:印刷班 12人
使用頻度	年間を通して、1週間に約3日
使用状況	<p>作業学習(印刷班)にて、名刺作製の依頼を受けて制作している。パソコン、プリンタを使って、名刺用に印刷したA4用紙を、名刺サイズに裁断するために、名刺裁断機を使用している。</p>
物品の使用による変化や効果 ※ 1年目との違いを含めご記入ください。	<p>機械の不具合等なく、今年度も引き続き使用させていただいている。裁断のズレも起きにくく、エラーも正確に感知できる。生徒達は、裁断のズレなどが起きないようにするために、用紙を押さえながら用紙をセットしたり、スタートボタンを押したりしている。正確に裁断するために気を付ける点が、意識しやすい構造になっているため、生徒にとって非常に使いやすい。</p> <p>1年ごとに所属する作業班が変わるため、今年度所属した生徒たちも操作を覚えて活用している。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>ズレや失敗も起きず、紙の損失が出ないので作業製品の質の向上等に役立っている。今後も引き続き名刺作製の依頼を継続して受け、名刺裁断機を活用していきたいと考えている。</p>
その他 希望や所感など	<p>名刺が裁断されて機械から出てくるところは、とても気持ちがよく、生徒たちの満足そうな表情をたくさん見ることができている。</p> <p>生徒、職員共に、寄付していただき、感謝している。</p>

2. 活用の様子



名刺の裁断をしているところです。

カットする紙に軽く手を添えて、紙が曲がらないようにしています。

とても使いやすく、ほとんど失敗がありません。そのため、生徒たちも安心して使用できています。